

梨っ子だより

平成20年2月1日発行 No.150
安城市立梨の里小学校
TEL 71-3345 FAX 74-5251
URL: <http://www.anjo.ed.jp/~nashinosato/>
E-mail: nashinosato@anjo.ed.jp

寒さに耐えて、花を咲かそう ～『梨っ子のゆめ』作者が「命の輝き」を語る～



今、校庭の冬景色からは、寒さに耐えて春を待つ木々の力強い息吹を感じます。立春が近いと言えども、まだまだ身の凍る寒さを感じますが、そんな中で木々は厳しい木枯らしや霜に耐え、春の訪れをじっと待っています。やがてやってくる暖かな春に向けて、梨の木も花芽をつける準備を着々としています。

1月24日(木)、「梨っ子へのゆめを語る会」を開催。絵本『梨っ子のゆめ』の作者、杉浦辰子氏が、この日の最後に贈ってくれた言葉「寒さに耐えて、花を咲かそう」は、絵本の続編でもあり、今を乗り切る応援メッセージとなっています。

「みなさんは冬の梨畑をのぞいたことがありますか。」と、子どもたちに投げかける杉浦辰子氏。「今、お百姓さんは梨の木をととても大切にしています。剪定をしたり、肥やしをやったり、一本一本の枝を支柱にしぼったりしています。」梨の花や実を楽しんだ子どもたちにとっては、知らなかった苦労話です。「梨の木は、きれい好きです。お百姓さんは、ゴミが落ちてると、それをひとつ残らず拾っています。」冬の間の世話こそ大切なことに気づかされます。「梨の木は、今、北風や霜の冷たさに耐え忍んでいます。試練の時です。・・・つらいことに耐えて、暖かな春をじっと待っています。」生きていくのは苦しく、つらいことが思い出されます。

「厳しさに耐えて、自分の花を咲かそう」「つらいことをがまんして、自分の光を放とう」「努力して、心の中に永遠なる花を咲かそう」と、勇気づけられます。人生は自分の努力、心がけしだいで変えることができるのでしょうか。だからこそ、人間はすばらしいと感じます。冬の寒さに耐えながら花を咲かせようとする梨の木と、絵本『梨っ子のゆめ』の作者に、「命の輝き」を見て取れます。

絵本『梨っ子のゆめ』の作者、杉浦辰子氏からお手紙が届きました

過日はすばらしい会を催してくださり、心より感謝申し上げます。子どもたちの朗読やマイパレードの歌声が、今も聞こえてきます。透き通った心や可愛い瞳、私は心から感激いたしました。本当に校長先生をはじめ諸先生方の熱き思いを感じ取り嬉しさがこみあげてまいります。……

私はたくさんの拍手をあふれんばかりにいただきました。この拍手は梨の里小学校の全ての皆様にお返ししたい思いでいっぱいです。これからますます皆様のご活躍され、梨の里小学校がさらなる発展をされることを心より祈ります。私にとってH20.1.24は、生涯忘れることのない記念日になりました。ありがとうございました。

4年生「もちつき会」 地域・家庭と学校との絆を深める

～この1年の実りに感謝～



1月24日(木)、4年生がこの1年間お世話になった人をお招きして、「もちつき会」を開催。田植えや稲刈り、サツマイモ掘りなど、子どもたちと地域の人との交流が、まるで家族のような温かさをもった時、このような楽しいもちつき会へとつながるのでしょうか。地域のふるさと「水の駅」などでの実体験の数々を終えた後のもちつきは、どの子も笑顔が輝いていました。

今、人間関係が希薄になり、地域の絆も弱くなっていると言われています。実際に隣近所や町内で催しをしたり、話し合いをしたりすることが減ってきているように思います。そんな時にこそ、子どもたちとのふれあいを通して、地域や家庭、学校の絆を深め、地域や学校の活性化を図ることが必要なのかもしれません。